

地域における女性のつながりサポート事業【あま市】

個別事業費	493 千円
交付金額	246 千円

地域の実情と課題

男女共同参画市民意識調査（令和2年度実施）

- ・「DVを防止するために、被害者のための相談機関や保護施設の整備が必要」57.7%
- ・「DVを受けたが相談できなかった、相談しようと思わなかった理由は、「相談しても無駄だと思った」47.2%「誰（どこ）に相談してよいのかわからなかった」15.1%

令和3年度保健師、女性相談担当部局、女性に関わるNPOからなる懇談での報告・指摘

- ・悩みや困りごとがあっても、既存の対面相談窓口は敬遠したり時間的制約により利用せず、SNSやインターネットサイトで調べて済ませる人が若年層を中心に増加
- ・孤立した若年カップルが、出産後子育てに困って知人から女性相談に連れてこられた事例
- ・インターネット相談を装った悪質商法サイトにつながり、依存に陥った事例

これまで、産業部門や男女共同参画部門が女性起業セミナーやそれに類する支援を、保健部門や福祉部門が女性や妊産婦を対象とした相談事業やサロン事業を、市内小中学校においてもスクールカウンセラーの設置などの取組をしてきたが、地域の女性活躍の基盤としてまずは心の健康を回復するための多面的な相談支援が必要である。

事業の特徴

女兒や女性が手軽にスマホなどからアクセスして不安や悩みを相談できるSNS相談窓口をNPO法人への委託により開設し、相談者の心に寄り添った支援と、必要に応じてより専門的な公的相談窓口への接続を行う。

安全性に配慮した属性別オープンチャット（SNS上の居場所）と、地域の女性の心のつながりやふれあいを支援する。

事業の効果

- 【1】LINE相談事業オープンチャット登録者数 目標人数100人に対して実績141人のため、概ね達成
- 【2】つながりすと交流 参加者24人（受講者同士、お互いの活動への協力や参加につながった。互いの活動が励みになりモチベーションアップになった。達成

目的・目標

市内で女性と関わりながら活動している市民団体と協働で次の事業を実施する。

- 1 手軽にスマホなどからアクセスでき、不安や悩みを信頼して相談できるSNS相談窓口の開設
- 2 地域の専門相談機関との連携と、各相談機関の周知啓発
- 3 地域で交流できる場（SNS上、実地）の提供

これらの取組を通して、女性地域の女性の心のつながりやふれあいをサポートし、女性活躍に向けた底上げを図る。

連携団体

- 市（公共施設を含む）
- 市教育委員会（学校施設を含む）
- NPO法人
- 愛知県
- 近隣市町村

今後の課題

事業認知度の向上と他の相談窓口との連携強化

(1) 身近な相談窓口の開設・運営

相談手法はオンライン（LINE等）とし、問題の根本的解決に向け必要に応じてより適切な相談機関へもつなげる。属性別オープンチャットで、女性の心のつながりやふれあいをサポートする。

相談員スキルアップ講座を実施し、人材を育成する。



周知・広報活動



女性と女の子の味方です
カフェでくつろぐような気分で
お話ししてみませんか？

LINE相談窓口 『ココロほっとカフェ・あま』

暮らし、学校や仕事、人間関係など…
悩みや気がかかっていることがあったら相談してみませんか？
偶数日18時～22時（年末年始を除く）



LINEオープンチャット

共通項のある人同士で、おしゃべりや情報交換するためのチャットです。



ひとり暮らしの女の子



シングルママ



家族の介護



不登校の子どもたちのママ



双子ママ



令和6年度 あま市地域における女性のつながりサポート事業
（受託事業者 NPO法人ママ・ぶらす）



18 令和7年9月号 広報 あま

女性と女の子のためのLINE窓口 ココロほっとカフェ・あま

悩みや不安、ちょっとした心のモヤモヤ、なんとなく寂しい…。

もし一人で抱えていることがあれば、LINEでカウンセラーと会話してみませんか？まずは誰かに話すことで気持ちが整理出来たり、ココロがほっと落ち着くかもしれません。年末年始以外の偶数日午後6時～10時に対応しています。（最終受付は午後9時30分）

二次元コードを読み込んで、気軽に登録してみてくださいね。



問 令和7年度あま市地域における女性つながりサポート事業
受託事業者 NPO法人ママ・ぶらす

相談員スキルアップ講習の開催

令和7年10月29日（土） 14時～16時

受講者：相談員6名

実施内容：基礎研修の復習、相談と対応の事例検証、質疑応答

(2) ～女性と女の子の味方になる～

「つながりすと交流」

同じ志を持つ仲間との出合いやつながり、共に学んだことを、思いやりのある温かな地域づくりに役立てる。

つながりすと交流

対象者：R5つながりスト講習修了生およびR6つながりすと

交流参加者24名

内容：LINEグループによる情報交換や交流